

いい日旅立ち

ご卒業おめでとうございます ～ご愛読ありがとうございました！～

本日は、ご卒業おめでとうございます。卒業はゴールラインではなく、スタートラインといわれます。さあ、「将来の夢（目標）」といった山頂を目指す登山のスタートです。登山にあたって、人生の先輩として3点、助言させていただきます。

①途中で休憩、休息も必要です。

登山途中、疲れたら休憩、休息をとることも大切です。かなり昔の話ですが、札幌市東区の大学付属病院で有名な産婦人科医のN先生が、講演会で「長い人生1・2年、人よりも遠回りしても何も問題はないよ。」と話されていたことを、私は今でも鮮明に覚えています。

②ルート（進路）変更や少し戻ることも時には大切です。

登山途中、道がふさがっていたならば、思い切ってルート（進路）を変更したり、時には少し戻ってみることも大切だと思います。下の著名人は進路変更されて成功された方々です。

藤井 フミヤ	国鉄職員（現JR九州）→歌手
福山 雅治	会社員（電子計測器会社）→俳優・歌手
タモリ	保険外交員→ボーリング場の支配人→喫茶店のマスター→タレント
向井 理	バーテンダー→バーの店長→俳優
EXILE TAKAHIRO	美容師→歌手・俳優

③最後まで登りきってください。

人生の登山は、途中様々な困難に出くわすと思いますが最後まで登りきってください。登りきる時間は一人ひとり違ってよいと思います。

では、3月17日（月）の11時30分に多くの卒業生と再会できることを楽しみにしております。

●私立高校の第2次募集

進路通信を使用して、私立高校の第2次募集について周知させていただきました。これまで紹介した高校は、①札幌山の手高校、②札幌新陽高校、③とわの森三愛高校通信制課程、④北星学園大学附属高校の4校です。これらの高校は、今春の生徒募集がうまくいかなかった訳ではなく、学校の方針として第2次募集を行っているようです。例年、あと1～2校の私立高校の第2次募集要項の案内が中学校へ届きます。今後、進路通信にて周知する機会がなくなりますので、上記4校以外の私立高校への第2次募集を検討されている方は係（高野）へ電話にてお問い合わせください。

●公立高校の入学辞退について

3月17日（月）に公立高校の合格発表があります。合格した生徒が入学を辞退する場合、中学校側は下記の動きをすることとなっておりますので、お知りおきください。

①17日（月）15時30分までに高校へ電話連絡を入れ、更に「入学辞退届」をFAX送信する。②FAX送信後、速やかに「入学辞退届（原本）」を郵送する。

中学校側からのこうした連絡・送信を受けて、高校側は翌日18日（火）9時30分から開始される追加合格の準備に取りかかります。

「（追加合格や第2募集による）入学希望者がいるのにも関わらず、募集定員に欠員を出してしまう。」という事故は絶対にあってははいけません。慌ただしい動きとはなりますが、ご理解ください。

なお、先の推薦受検において合格内定され、「入学確約書」を提出した生徒の入学辞退はできません。

ちなみに、中学校も例年4月1日に行われる新入生受付において新入生から「入学通知書」を受け取り、確実に新入生の生徒数の確認作業等を行っております。

☕coffee break① 消えた9月入学案

覚えているでしょうか。5年前の2020年春、新型コロナウイルスによる長期休校の解決策として浮上した「9月入学案」、全国知事会でも多くの知事の支持を集め、その後、当時の安倍首相が「前広に検討する。」と前向きな姿勢を見せたことから、注目を集めました。

しかし、検討を重ねると様々な問題点が見つかりました。

例えば、4～8月生まれの全ての子供を一律遅らせて小学校に入学させた場合、小学校1年生の人数は17カ月分に膨らみ、教室や教員の確保に支障をきたします。

こうした問題点の発覚から、当時の萩生田文科相の「導入を急いで結論づけない。」という発言により「9月入学案」は消えたのです。

☕coffee break② 制服の第2ボタン

ドラマや映画で、卒業式後に制服の第2ボタンを男子から好きな女子に渡したり、女子が好きな男子にもらいにいくシーンを見かけます。どうして、第1ボタンや第3ボタンではなく、第2ボタンなのでしょう。理由は諸説ありますが、有力なものを3つ紹介します。

- ① 第2ボタンの位置は心臓付近にあるため、「ハートをつかむ」意味ではじまった。
- ② 制服（学ラン）のボタンには第1ボタン「自分」、第2ボタン「1番大切な人」、第3ボタン「友人」、第4ボタン「家族」、第5ボタン「他人」という意味があるため。
- ③ 第2次世界大戦の学徒出陣（動員）において、戦争に行けば、2度と帰れないかもしれないという思いから、大切な人に形見として学生服のボタンを渡す慣習があった。その際、第1ボタンをとってしまうとだらしく見えることから、なくても気づきにくい第2ボタンを渡すようになった。

ご愛読ありがとうございました！